

2016年1月26日 尼崎市長と座談会

～エコチル調査と尼崎市の未来について～



知れば知るほど
“あまがすき”
100
ニ崎市市制100周年

エコチル調査について

島センター長 環境省が行っている「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」が平成23年1月にスタートしてから、ちょうど5年が経ちました。本日は、調査対象地域である尼崎市の稲村市長様、調査に参加されているお二人と調査スタッフにお集まりいただき、エコチル調査と尼崎市の未来についてお話しただきたいと思います。

稲村市長 ちょうど私が市長に就任した頃にエコチル調査がスタートしたのでしたね。

島センター長 この調査は、お子さんがお母さんのお腹にいる時から生まれて13歳になるまで、長期間にわたって定期的に健康状態を確認させていただき、環境要因が子

どもたちの成長・発達にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的としています。全国 15 地区で調査を行っておりますが、兵庫県では尼崎市が調査対象地区となっており、兵庫医科大学が担当させていただいています。最初の 3 年間で妊娠中の女性にお願いして調査に参加していただき、全国で 10 万人余り、尼崎市では 5189 人の妊婦さんが参加してくださいました。既に皆さんが出産されており、いちばん早くお生まれになったお子さんは 4 歳半になっています。

稲村市長

わぁ、すごい！何年もやりつづける、長丁場の調査だから大変ですね。

自己紹介とエコチル調査との関わり

島センター長

まず、本日参加された皆さまに自己紹介をお願いします。私はエコチル調査兵庫ユニットセンター長をさせていただいています、兵庫医科大学の島です。専門は公衆衛生学で、主に大気汚染などの環境と健康との関係についての研究を行っています。最近話題になっている PM2.5 についても、かなり以前から研究を行ってきました。



徳田

臨床心理士の徳田です。エコチル調査では精神神経発達検査を担当しております。いろいろな道具を使って、お子さんとやりとりをしながら、発達の状態をみさせていただいています。

溝上

リサーチコーディネーターの溝上です。主に参加者さんとのコミュニケーションを担当しています。研究者の方とは違って、参加者さんと直接触れ合う機会が多いので、参加者側に立って、13 年間の長い調査をサポートしていきたいと思っています。



参加者 M さん

エコチル調査に参加している M です。生まれてからずっと尼崎市に住んでおりまして、子どもは 2 歳 7 か月です。今の趣味は子どもと色々な所に行き遊ぶことです。武庫之荘に住んでいますが、尼崎は子育ての環境に恵まれていると思います。



稲村市長 武庫之荘ですね、尼崎の北側は子どもが多い地域ですね。そのお子さんがお生まれになってから2年7か月間調査に参加されているんですね、ありがとうございます。

参加者Kさん エコチル調査に参加しているKです。生まれも育ちも尼崎で、結婚してしばらくは他に住んでいましたが、尼崎の方が利便性もよいので戻ってきました。ですから、尼崎市の居住歴は25年くらいです。子どもは2歳です。趣味は元々ダンスなどでしたが、母親になってから母性がさく裂して（笑）、今は子どもと一緒に遊ぶことが趣味です。



稲村市長 その母性は分けてもらわなあかな～（笑）。改めまして尼崎市長の稲村です。今日こういう機会をつくっていただき、ありがとうございます。私も娘が一人おりまして、今は小学校4年生ですが、なかなか言うことを聞いてくれません。日々言い合いばかりしていますが、喧嘩するほど仲がいい親子みたいな感じですよ。



この調査は長期間にわたるので、サポートするスタッフの皆さんも協力する方も大変だと思います、継続し続けることが大事です。まだまだこれから先が長く、本格的にいろいろな要素を調査するというのも、今までに例がなく、市としても、一人の母親としてもできる限りの応援をしたいと思っています。調査って難しいんですよね。科学的に一つのことを言うのに、たくさんのことを整えないといけないという話を以前に島先生に聞いたことがありますが、とても難しいと思っています。今アレルギーの問題とか解明できてないことがいっぱいあって、100パーセントははっきりとわかるわけではなくても、少しでも私たちが気を付けていくきっかけになるんじゃないかとすごく期待をしています。一緒に取り組んでいきましょう。

島センター長 市長さんからアレルギーについてのお話がありましたが、最近日本では子どものアレルギーが増えており、環境との関係も指摘されています。しかし、日本の環境は1960～70年代に比べてかなりよくなってきています。それにも関わらず、アレルギーの病気が増えてきている。だから、その原因は単純に環境汚染というだけでは解決できないわけです。一方で、私たちの身の周りにはさ

さまざまな化学物質があって、そのおかげで生活が非常に便利で豊かになっているわけですが、それがひょっとすると子どもたちの健康に影響を与えているのではないかと指摘されるようになってきました。そこで、現在行っているエコチル調査で化学物質などの影響についても詳しく調べて、将来のために生かしていきたいと考えています。

子育て環境に恵まれた尼崎市

島センター長 先ほど、尼崎は子育てに恵まれているとのお話がありましたが、詳しく聞かせてもらえますか？

参加者 M さん はい、私の住んでいる所から徒歩 5 分位の所に小児科が 2 つあって、何かあった時にいつでも子どもを担いでいくことができます。また、市全体が平地ですのでどこでも自転車で行くことができます。尼崎市バスが多く走っていますので、妊娠中もどこにでもバスで行くことができました。

稲村市長 私も全く一緒です！ 普段はいつも自転車ですが、妊娠中はバスを利用していました。バスってありがたいって。

参加者 K さん 尼崎は 6 歳まで医療費の助成があるのがいいと思います。それにこんなにきれいな女性の市長が女性の立場で、しかも母親目線で尼崎市を発展させてくれるのではないかと期待しています。

稲村市長 ぜひ頑張りたいと思います！ 私も病児保育とかお世話になっているので、そういう連携があるのとないのとでは子育ては全然違いますよね。

参加者 K さん そう、実際に母親になってわかることもたくさんあったので、母親でもある女性が市長というのはうれしいです。

稲村市長 これからもいっぱい皆さんの声も聞きながら頑張りたいです。

島センター長 尼崎はかつて大気汚染をはじめとする多くの環境問題を経験し、それらを克服してきたという歴史がありますけども、市長さんから見て市での環境作りという点ではどうでしょうか。



稲村市長 今の環境は測定結果からみても全く問題ないのですが、なかなか昔のイメージを払しょくできないもどかしさがあります。実は、国が募集していた「環境モデル都市」に手を挙げて、無事に選定していただくことができました。ただ、PM2.5などの新しい課題が次々に出てきていますし、今は十分に対策をしていますが、アスベストなどの本市固有の課題もあります。逆にそれらを私たちがいろいろな教訓にしています。安全にしっかりと配慮した街作りという意味では全国に比べてかなりトップクラスで取り組んでいると自負しています。

島センター長 アスベストの問題は尼崎がきっかけになって全国で注目されるようになりましたが、過去にそうした問題があってもそれらを克服してきたという点で、今の尼崎の環境は大変よくなったと思います。これまで環境問題に関する研究は、過去を振り返って被害を明らかにすることが中心でした。市長様もお話しされましたが、アスベストの問題はまさにその典型です。それに比べて、エコチル調査は過去ではなく未来をみているという点で画期的なものだと思います。さて、尼崎市は子育て環境には恵まれているというお話がありましたが、将来はこんな街になってほしいという思いはいかがでしょうか？



交通の便がよい尼崎市

参加者 M さん 高校入試の制度が変わったことが気になります。総合選抜がなくなって、のほほんとしていられなくなりました。これから競争していく必要があると思いますので、小中学校の公立教育の充実を願っています。

稲村市長 そういう声は多くの皆さんからいただいています。といいますのも、尼崎は交通が便利ですので西宮をはじめとする周辺の都市からの受験者が多い人気の高校が多くなる気配でして、尼崎市民が尼崎の学校に入れるように力をつけていきたいと、私たちもしっかり取り組んでいこうとしています。大丈夫ですよ！がんばります！

島センター長 尼崎市は交通の便がよいので、人が集まってくるような活気のある街になればいいと思いますね。

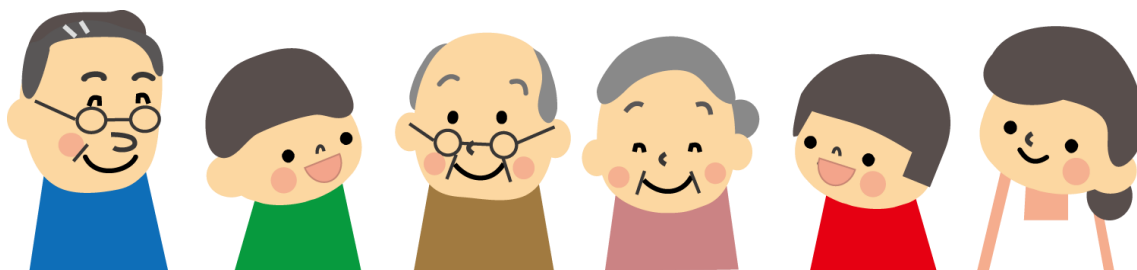
稲村市長 尼っこというのは、いつでもどこでも自転車で行ける、とても便利な街なのですけども、言われてみればこの辺しか行ったことがないということもあると思います。なので、行動範囲が広がるのも悪いことばかりではないですし、尼崎に多くの人たちが来て高校が発展していくというのはそれだけ魅力のある学校が私たちの近くに増えていくというチャンスだと思います。あとは尼崎市民がそこの高校に入れる確かな実力をつけるため、しっかり取り組んでいきます。

参加者 K さん エコチル調査に参加していますので、この調査で病気の原因が解明されたら、尼崎市で将来の病気の予防などに取り入れてくれたらいいなと思います。また、市民プールや子どもの遊び場が少なくなってきましたし、幼稚園が統合されて少なくなっているので、その分公民館や図書館の充実、防犯と環境に配慮した子どもの遊び場のある街を作ってもらいたいと思います。

稲村市長 ありがとうございます。今年度から全ての小学校に図書館司書や司書教諭資格者などを配置する体制の整備ができました。夏休みとか、皆さんが身近な所で絵本を読んだり、子どもが声を出してもいいスペースを作ろうと思っています。ところで、この調査に協力してくれる方ってかなりしっかりしているご家庭の方だと思うんですね。

島センター長 3年間で参加者を募集し、尼崎市で5千人余の方に参加していただいています。これはこの3年間に尼崎市で妊娠・出産された方の半数近い人数ですので、さまざまな方が参加されています。

稲村市長 やっぱり多様なですね。



エコチル調査への参加は社会貢献

島センター長 エコチル調査に参加していただいている方にお聞きしたいのですが、子育てを
されながら調査に協力を続けていただくことは大変でしょうか？

参加者 M さん 私はもともとモニター活動とかが好きなこともあって、そんなに大変とは思わ
ないです。

稲村市長 貴重やわあ、こういう人がいてくれたら。

参加者 M さん 今は子育てに専念しているので、エコチルに参加していることで社会貢献して
いる感があります。それにコールセンターに電話したら育児相談にも乗ってく
れるんですね。病気じゃなくても見てくれているという安心感があります。

稲村市長 じゃあ、参加していることのメリットもあるんですね。

島センター長 5千人余りが参加されているので、さまざまな方がおられます。働きながら子
育てなどにお忙しい方では半年に一度の質問票が滞りがちな方もいらっしや
います。できるだけ多くの方に調査を続けていただくためにイベントを開催し
たり、子育ての相談に対応したりするほか、ホームページでもさまざまな情報
を発信しています。



環境と健康の関係には個人差がある

稲村市長 これまで環境というと大気汚染とか化学物質が主流だったと思いますが、今は
インターネットが普及して、みんな画面を見る時間が長くなっていますね。ス
マートフォンと健康との関係を科学的に立証するには期間のかかることだ
と思いますが、私は個人的には使用する年齢を制限してもいいのではないかと
思っています。科学的根拠がないので、法的な規制は難しいそうですね。私は依
存性のあるものについては規制してもいいと思うんですよね。お酒とタバコは
年齢で規制するのに、スマホは何歳でもいいのはなんでだろうって。私たちが
合意形成していく上で、これから教育委員会と一緒に考えようと言っています。
そうしたことも、この調査で少しずつ解明していったらいいなと思います。

島センター長 インターネットやメディアは依存性の問題がありますし、電磁波の健康影響もまだ解決したわけではありません。携帯電話を使うと脳腫瘍が起こりやすいと騒がれたこともありましたが、最近はあまり言われなくなりました。



稲村市長 そうですよ、なんかマヒしちゃいましたよね。

島センター長 その辺りはまだ十分に解明されたわけではありません。今はほとんどの人が携帯電話やスマホを使っていますので、むしろ使っていないという人を調べるのが難しいくらいになっています。

稲村市長 そうですよ、ただ使用時間とか使い方も調べればいいのではないのでしょうか。

島センター長 そうした問題もエコチル調査で扱わなければならない課題だと思っています。

参加者Kさん 私も妊娠中にIHコンロとか電磁波の影響がないか不安を持っていました。

稲村市長 ただいたずらに不安を感じたり、神経質になりすぎるのも問題で、そうなると偏って適切な対応ができなくなるのは気をつけなきゃいけないですが、よくわからないことに対して見切り発車すると、取り返しがつかないということもあります。大切なのは予防原則ですよ。非常に重大な影響があるかもしれない問題については極力慎重に対応しないといけないと思いますね。

それと体質や個人差もあると思うんですね。過敏な方と大丈夫な方、同じものを食べても大丈夫な人とそうでない人もいます。その時に大丈夫じゃない人に対してしっかり寄り添うために、こういう調査でヒントや少しでも傾向がわかれば、私たちも慎重かつ丁寧な対応ができるのではないかと思います。

島センター長 環境汚染の健康影響には個人差があります。例えば、タバコを吸っていて病気になる方もいれば、高齢で吸い続けても元気で全く病気にならないという方もいらっしゃるわけです。そうした個人差に遺伝子などが関係しているのかどうか、まだわかっていないことが多いのですが、エコチル調査は全国で10万人という非常に多くの方にご協力いただいて、詳しく調査を進めていく中でそういう問題についても少しずつわかってくると期待されます。そのためにも、できるだけ多くの方に参加していただき、長期にわたってご協力をお願いしたいと思います。それがこの調査で科学的な結果を出していく上で非常に大事なことです。ぜひ継続してご協力をお願いします。



子育てって、気になることがいっぱい

島センター長 先ほど、子どもの発達についてのお話がありました。徳田さんは臨床心理士として、現在は2歳のお子さんの発達についての検査をしていますが、何か感じることはありますか？

徳田 尼崎市ではお子さんの発達に関心の高いお母さんが多い印象です。周りの同年代のお子さんと比べたり、逆にいなくてわからないなど、さまざまな悩みがあるようです。誰に相談すればよいかわからないとお聞きすることもあります。そうした悩みにできるだけお答えしたいと思っていますので、何かあれば気軽にお電話いただければと思います。

稲村市長 子育てしている時は科学的根拠よりも、何気ない一言で気楽になったり安心したりしますよね。私も子どもを保育所に入れていたのですが、保育所の先生方って多くのお子さん見ているでしょう。こんな子はたくさんいるよとか、そんなに変わってないよって。うちの子ね、ハイハイしなくてね、座りながらずっていく子だったんです。ちゃんと四つん這いができないと肺の発達に問題があるって聞いたから、一所懸命持ち上げたりして何とかしているうちに立っちゃったんですけど。そりゃその頃はどうしようって思っているわけですよ。将来この子は肺があかんようになったらどうしようとか。そんな時にね、いろんな子がいるからこれでいいって言われるとね、自分が気にし過ぎやったと気が付いたり、そういう機会がないと増幅しちゃうんですよね。今はインターネットなどで簡単に調べられるから、それが解決や安心に繋がればいいですけど、心配が増幅してしまうこともあると思うんですね。

島センター長 インターネットがなければ、身近な信頼できる人に相談するようなことでしょうが、今はすぐにインターネットで調べられますから。

稲村市長 そう、子育てに関することって時代によって随分変わりますから、私たちの親世代に言われていることと今言われていることと違ったりしますからね。絶対にこれが正しいと求めると子育てではできないって思いますね。一定の幅をもてないとあかんって思いますね。

徳田 そうですね。親御さんは、「この子はどうなの？」ということを知りたいのではないかな、という印象もありますので、お子さんに合ったもの、親御さんに合ったものを見つけることが大切だと思います。身近に信頼できる人がいて、相談できるという環境も、子育てを支えると感じます。

楽しかったエコチル調査のイベント

島センター長 エコチル調査に参加されているお母さんやお子さん同士でお互いにコミュニケーションを図っていただくために、ユニットセンターでイベントを企画していますが、参加されたことはありますか？

参加者 M さん はい、英語のイベントに参加しました。すごく楽しかったです。いつも落ち着きのない子なんですけど英語の時はちゃんと聞いていて、楽しかったみたいです。

参加者 K さん 私も参加したかったんですけど、仕事もしているのでなかなか行けなくて。機会があればぜひ参加したいです。

島センター長 これからは英語のイベントの他にもさまざまなイベントを企画しています。

稲村市長 そういうご褒美あってもいいですよ。長い調査だし。

島センター長 長丁場でご協力いただくので、こういう楽しみもあった方がよいと思います。イベントにご参加いただけない人も当然いらっしゃいますので、ニュース冊子やホームページなどでイベントの様子もお知らせするようにしています。



大きく変化している環境と子どもの健康

稲村市長 私の周りにホルムアルデヒドがダメな人が何人かいて、自分の辛さが周りの人にわかってもらえないのが二重に辛いという話を聞いたことがあります。そういうこともエコチル調査で解明すればいいなって期待しています。もう一つ、環境はよくなりましたが、健康の課題は残っていて、いろんなものが発達しすぎて人間の自然な治癒力や免疫力みたいなのがどうなっているのかなって感じるんですよ。わたしたちが弱くなってんじゃないのかなって。私たちの体質の変化とか。子どもでも自分から産まれた子どもなのに体型とかが今時なんですよ。発育も早い。食べる物の変化かな。

島センター長 遺伝的な素因が短期間で大きく変わっているとは考えにくいのですが、十年、二十年といった比較的短い間に人の体型も変わるし、病気の起こり方も変わってきます。それは食べ物や環境などの変化が関係しているのかもしれませんが。

稲村市長 母より私の方が背が高く、私の子どもの方が私より背が高くなりそう(笑)。日本人は大きくなっているのかな？

島センター長 食べ物が違うことも関係しているでしょうが、ライフスタイルが大きく変わってきたことの影響でしょうね。運動能力も以前に比べると発達していますしね。

稲村市長 化学物質もどんどん生み出されていくし、でも一方で私たちのそういう免疫については間が空いている気がします。免疫についても調べてほしいなって期待しています。

島センター長 免疫やアレルギーに関する問題はエコチルの中でも重視されています。1歳から3歳までに喘息のお子さんが少しずつ増え、3歳では約13パーセントになっています。アトピー性皮膚炎も3歳で14パーセントくらいです。アトピー性皮膚炎は一時かなり増えていたのですが、最近はやや少なくなっているといわれています。しかし、環境が悪かった昭和30~40年代に比べて、今の方がぜん息やアトピー性皮膚炎のお子さんが多くなっています。また、大気汚染などの環境問題が深刻な発展途上国は先進国よりもアレルギーの病気が少ないこともわかっています。

稲村市長 うーん。おかしいですね。

島センター長 このように環境問題だけでは説明できないことがたくさんあります。そうした問題についてもエコチル調査で今後明らかにしていく必要があります。



日本の子どもは睡眠時間が短い

島センター長 エコチル調査では子どもの睡眠時間についても調べています。

稲村市長 そう、この資料のデータがすごく気になっていたんです。なんか衝撃的ですね。

島センター長 エコチル調査に参加されている3歳のお子さんの7パーセントは10時間未満しか寝ていないということが今年1月の全国シンポジウムで発表されました。3歳児の場合、推奨される睡眠時間は10時間から13時間なのですが、日本の子どもは世界的に睡眠時間が短い傾向があるとされています。

稲村市長 うーん。親の労働時間を短くしないといけないですね（笑）。

参加者Kさん パパと遊びたいですしね。

島センター長 子どもの睡眠時間は子どもだけの問題でなくて、家庭の環境ですよ。

稲村市長 そうそう親の生活スタイルが大きいですね。

参加者Mさん うちでは体質的に短くてもいける感じです。2歳ですけど昼寝はしなくて。

稲村市長 あ、でもそういう子が昼寝すると夜寝てくれないから（笑）。ただこれはちょっと調節というか工夫がいりますよね。うちも私の帰宅が夜遅いので、夫が朝早くから働いて夜は早めに帰ってきて娘と一緒に早く寝る。ただし私は娘との触れ合いが少なく、今では、すっかりお父さんっ子です（笑）。

島センター長 親に付き合わされると、子どもの睡眠時間が短くなってしまおうでしょうね。

稲村市長 たまにお母さんも一緒に寝たいといっても決して布団に入れてはもらえないんですよ。私だけ一人さみしく布団で寝る（笑）。

参加者Kさん いろいろと工夫するんですけど、パパが帰ってくると子どもはうれしくて起きてしまう。一応入眠儀式みたいなのをしています。絵本読んだら寝るよってスイッチを変えるよう努力はしていますが、なかなか難しい。本当に寝てくれない。

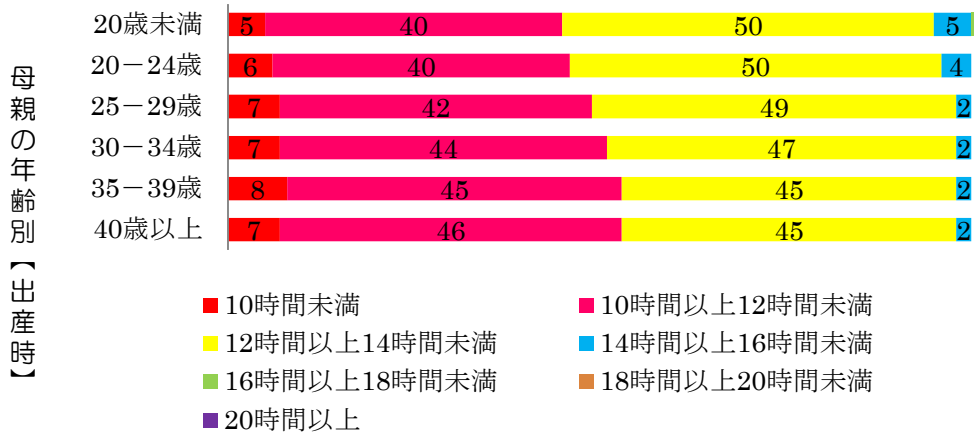
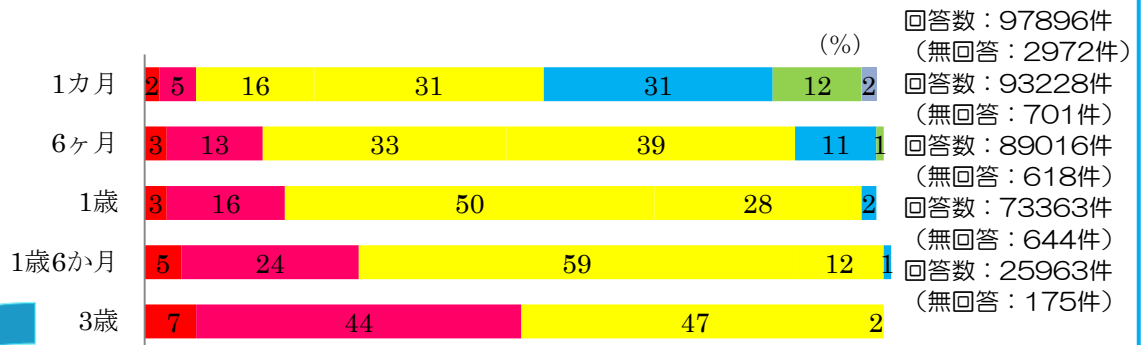
稲村市長 そうですよ。そうだと思います。



全国質問票集計結果（出典：エコチル調査5周年記念シンポジウム）

（注意）2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。

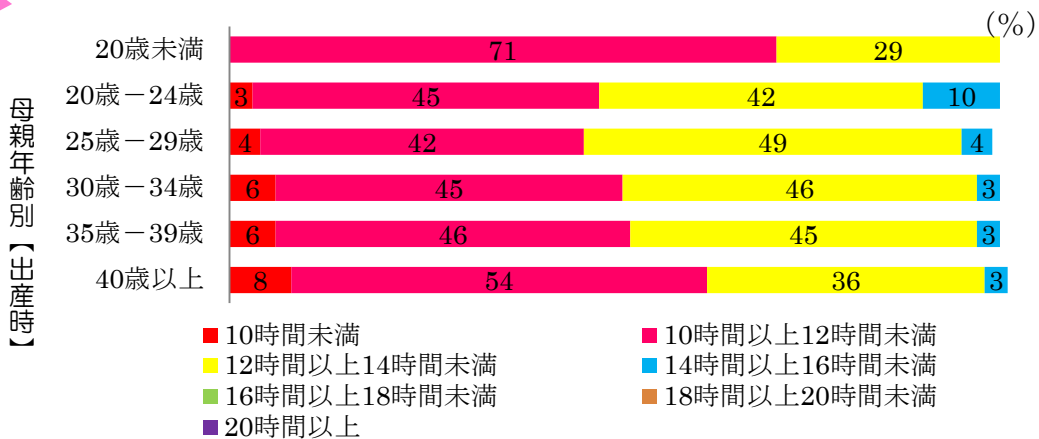
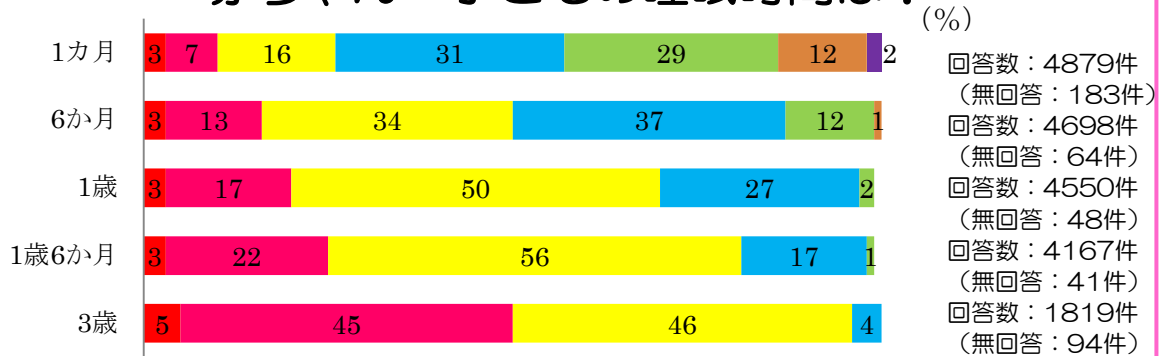
赤ちゃん・子どもの睡眠時間は？



兵庫ユニットセンター質問票集計結果

(注意)2016年2月1日時点のデータに基づく暫定的な結果です。

赤ちゃん・子どもの睡眠時間は？



身の回りには化学物質がいっぱい

島センター長 先ほど市長様から化学物質についてのお話がありましたが、エコチル調査のアンケート調査では家庭でどんなものを使っておられるかを尋ねています。例えば、虫除けのスプレーや日焼け止め、女性が使う香水やマニキュアなどをどのくらい使っているかを尋ねると、夏は虫除けスプレーがかなり使われています。虫に刺されるのはよくありませんが、虫除けスプレーも体にいいのか悪いのかははっきりわかっていません。

稲村市長 これも使った人と使ってない人を比べていくんですか？

島センター長 ええ、今後はこれらを比べていくことになります。また、エコチル調査に参加されている一部の方を対象に行っている詳細調査では、ご家庭内の化学物質の量を測定していますので、その結果とアンケート調査の結果を合わせて評価することになります。さらに、妊娠中のお母様からいただいた血液が大型冷凍庫で保存されていて、ようやくその血液中の重金属などの分析が始まっています。

稲村市長 すごいなあ。

島センター長 今のところ、水俣病の原因となった水銀のほか、鉛などの重金属類の分析が行われており、今後は化学物質などについても検討が進められる予定です。健康への影響については、結果が公表されるまでに時間がかかると思いますが、徐々に結果を発信して、今後対策が必要かどうか、対策が必要であればぜひ改善に繋がるようにしてもらいたいと考えています。





検査の結果が返ってきました

- 島センター長 調査に参加されている M さん、K さんから、エコチル調査に対するご意見があればお願いします。
- 参加者 M さん 詳細調査に参加しているのですが、発達検査の結果が点数だけでわかりにくかった。
- 徳田 エコチル調査では、お子さんの発達の状態を年齢でお示ししたものと、検査時のお子さんの様子を書面でお返ししています。もし気になることがあれば、面談させていただく準備もあります。
- 島センター長 発達検査の結果を書面だけでお返しすると、十分にご理解していただくことが叶わないかもしれません。本来なら面談でお伝えするのがいいですよ。
- 稲村市長 本当ですね。それがいい。
- 島センター長 ですから、気になるようなことがありましたら、遠慮なくお電話でお問い合わせいただけたら、詳しくご説明いたします。
- 稲村市長 個人の検査結果を詳しく知りたいという希望があればお返しすることはできるんですか？
- 徳田 できる範囲で、個別に対応いたします。
- 稲村市長 なるほど。もし、専門的な機関などに繋げた方がいいという場合はお知らせいただけるんですか？
- 徳田 はい。必要に応じて、専門機関をご紹介します場合もあります。
- 参加者 K さん 私はエコチル調査のイベントにもっと参加したい。検査結果は確かに文書だけだとわかりにくく、勘違いしてハッと思ってしまったりもするかもしれないので、自由参加形式で結果報告会とかを開いてもらえたらうれしいですね。
- 島センター長 結果についての説明会があったほうがよいでしょうか？
- 参加者 K さん そうですね。文書で結果をもらうだけだとわかりにくいので。
- 稲村市長 自治体の 3 歳児健診でも簡単な発達の検査をやりますよね。
- 島センター長 エコチル調査では、現在 2 歳のお子さんに発達検査を行っています。
- 稲村市長 早いんですね！

島センター長 ええ。2歳のお子さんにやるのは結構大変でして、しかも全国15ユニットで統一した基準で検査をしなきゃいけない。

稲村市長 同じ条件でないといけないんですね。

島センター長 そう、検査担当者は何回も試験を受けたり、検査をしている所をビデオで撮ってチェックを受けたり、常に工夫しながらやっています。他ユニットとの連携が結構大変なのです。

稲村市長 そうかあ、なるほどね。評価のものさしがばらついたらいかんもんね。



次の世代に大きく役立つエコチル調査

島センター長 時間もそろそろ迫ってきましたので、最後に市長様から参加者さんに対するメッセージをお願いします。

稲村市長 私が言うのもなんですけど、参加してくださっている方には本当に感謝したいですね。参加されているお二人の話にもありましたけど、これからの私たちの次の世代、その次の世代にきっと大きく役に立つ調査だと思うんです。私たちもこれまでのいろんな調査の結果に基づく医学の進歩に助けられて生活させてもらっていますので、こういう未来に向けた調査にたくさんの方にご協力いただけるのは素晴らしいことです。調査の意義を皆さんが確認して、13歳になるまで、最後まで多くの方が調査にご協力いただけるようにぜひともお願いしたいと思います。

島センター長 エコチル調査で得られた結果を国の施策に生かしていくのは当然ですが、尼崎市で実施させていただいていますから、市にもご報告させていただき、尼崎市

の環境改善、あるいは子育て環境の改善等にぜひ、繋げていただければ
なと思います。

稲村市長

もちろんです。私たちもこういう調査にこういうふうに関われるのは、すごく
ラッキーなことだと思っています。これを私たちの政策にもぜひ活かしていき
たいと思っていますので、今後もぜひよろしくお願いします。

